

発揮できない状態で長期間の運営を余儀なくされたことから、病院の増改築事業の実施について検討を重ねてきたこととあります。

本年1月、浦河赤十字病院に対して緊急経済対策の一環として創設された、医療施設耐震化臨時特例交付金の配分が決定したという新聞報道がありました。この交付金は災害拠点病院などの耐震化工事に充てられる交付金となっています。

浦河赤十字病院は日高管内の災害拠点病院に指定されており、浦河沖地震で被災するなど、耐震化工事の緊急性が高いと判断されたことから、この度、交付金の配分が決定したとございます。

この交付金の決定を受け、先般、浦河赤十字病院から日高管内各町に対して、病院増改築事業の計画が示され、同時に増改築事業に対する財政支援の要請がありました。その内容を報告させて頂きます。

まず、病院増改築事業計画の概要ですが、現在地に建設されている第4本館、地上6階4、931平米を改修して使用する以外は、既存建築物は全て解体撤去し、跡地に新館、地上7階建て13、000平米、新第2新館、地上2階建て2、894平米を建設するという内容です。

増改築後の診療科は16科、病床数は246床で内訳は一般病床192床、精神50床、感染4床の計画とございます。

この増改築事業に係る総事業費は57億2、150万円、国からの交付金が13億円、借入金を含めた自己資金が19億2、150万円、日高管内からの補助金は25億円を見込んでおられることとございます。

本年最初の地域説明会と位置づけ、多くの方々の参加を期待しておりましたが、6名の参加に留まりました。参加者からは、幼児教育を取り入れる新たな認定こども園への期待が膨らんだものと感じました。

### 社会教育事業に関する取組について

まず、成人式の実施についてであります。1月10日に新成人41名が参加して開催され、地元の新成人や、成人式を機会に帰省した新成人が旧交を温めたところとあります。

二つ目として、1月22日、「家庭・地域・社会で子どもを育てる集い」と題し、青少年健全育成委員会の協力によりプラスワンセミナーを開催いたしました。鶴川高校野球部の佐藤茂富監督による「厳しさこそ愛」を演題とした講演が行われ、自分と野球との出会い、時代の変遷とともに変わり行く社会など信念・信条について強調され、家庭教育に示唆を得ました。

三つ目は、2月27日に開催したパートナーシップコンサートです。9回目を数え、朝日小学校3年生から6年生までの35名がオープニング曲を歌い、町民合唱サークルが昭和音楽大学と一つの曲を演奏するなど、新冠町と昭和音楽大学が一つのコンサートを作り上げました。また、コンサート前日の26日には、アウトリーチコンサートを新冠小学校と朝日小学校で実施し、クラシック音楽の魅力を伝えました。

### 青少年教育事業に関する取組について

少年国内研修交流事業として、小学校6年生と中学校1年生併せて19名により、1

また、この医療施設耐震化臨時特例交付金は平成22年度中に着工することが交付要件となっていることから、平成23年3月に着工、平成26年3月の竣工を目指すという計画になっております。

日高管内各町に要請のあった財政支援25億円については、日高町村会が取扱うこととなりましたので、今後、地元浦河町や管内各町の意向等を聞きながら財政支援等について検討されて行くことになると思われませんが、具体的な提案等があった時点で議会にも報告、相談してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いを申しあげます。

## 教育長行政報告

### 学校教育の推進状況について

1点目は、新冠中学校卒業生進路希望状況と平成22年度学級編制につきまして、その概要について申し上げます。

はじめに進路希望ですが、卒業生53名全員が進学を希望しており、2月末現在で7名の推薦合格が内定されております。進学希望校は静内高等学校26名、他に道内7校へ27名の希望となっております。

次に学級編制についてですが、学級数では、新冠小学校で普通学級1学級が減少となる見込みであり、新冠小学校・朝日小学校ともに普通学級6学級、特別支援学級2学級で、小学校全体では16学級となります。児童数は、小学校全体で299名となり、前年度より10名減となっております。中学校は、普通学級6学級、特別支援学級2

月7日から3泊4日の日程で沖繩での研修、交流事業を実施いたしました。平和学習・歴史文化体験、環境学習、体験学習の3つのテーマに沿って研修し、2月17日に研修報告会が行われ、父母をはじめ多くの関係者の参加のもと、子ども達全員の手作りによる報告会を開催したところとあります。

### 社会体育事業に関する取組について

総合型スポーツクラブNI・SPOの育成事業として、1月13日・14日の1泊2日の日程で、日高町においてウインターフエスティバルを開催し、スキー教室や雪像づくり等、普段新冠では体験出来ない貴重な冬のイベントを実施しました。児童生徒64名の参加があり、他町との交流も行いました。

## 条例

- 新冠町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 新冠町重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- 新冠町安全で住みよいまちづくりに関する条例の一部を改正する条例
- 新冠町生活環境保全及びびりサイクル推進に関する条例の一部を改正する条例
- 畜産環境総合整備補助事業分担金徴収条例の一部を改正する条例
- 新冠町有牧野条例の一部を改正する条例

学級の8学級で前年度と同数であり、生徒数は155名で前年度より9名減となっております。

次に大きな2点目は、確かな学力の育成についてであります。

一つ目は、教育課程の管理についてです。「教育課程の評価と充実」に向けて、教育委員会として本年度を評価してみようと、管理課職員が参事と毎週火・木曜日に学校を訪問し校長・教頭より週毎の教育課程管理状況の説明を受け、指導助言を行ってまいりました。

その結果、各学校は昨秋流行した新型コロナウイルスによる学校閉鎖に係る授業時数の減少への対応について、冬休みの日数を削減するなど、各教科、道徳、IT等に係る授業時数確保が進められてきました。特に、授業時数については、毎月授業時数の提出を義務づけ、教科の偏り、増減等への指導助言を行うなど教育課程管理の徹底を図ってまいりました。また、道徳の時間における副読本の使用をはじめ、教育課程の適正実施に向け各学校取り組みがしております。

二つ目は、平成22年度から抽出方式となる全国学力・学習状況調査について、当町では抽出調査の対象校ではありませんでしたが、全校とも希望利用の形で参加することとし、継続的な学力と学習状況の把握や改善に役立てていくこととします。

次に大きな3点目は、豊かな心身の育成についてであります。

スケートリンクについて、今年朝日小学校に開設することができ、朝日小の体育の授業として9日間、450名の利用があ

りました。さらに1月下旬から土曜日曜の6日間の開放や、新冠小学校の児童も利用できるようにと日曜日にはスクールバス運行の手立てを行い、休日には97名の利用がありました。

次に大きな4点目は、学校経営の改善・充実についてであります。

北海道における支庁制度改革計画に伴い、教育局においてもその機能及び組織について検討されており、新しい支庁の体制に併せて14の教育局体制となりますが、日高教育局は内部管理業務の一部が総合振興局管内の胆振教育局に集約されるため、規模は7割程度に縮小されます。

機能の面については、指導主事による専門的な指導の充実、特別支援教育を専任的に担当する指導主事の配置、小中学校教職員の広域人事の促進等を図ることとしております。

### 認定こども園開設に向けた取組について

開設まで1年余りとなった認定こども園は、実施設計委託も完了し、平成22年度から、施設の建設に着手することとしており、今定例会に関連予算を計上しております。

「保育士の研修」にあつては、幼稚園教諭としての実践を深めるため、幼稚園への派遣研修を実施しておりますが、2月10日には、外部講師を招聘し、指導計画書の作成方法や設定保育の在り方等の実践研修を行った所であります。

また、認定こども園の理解を深めるため、保育所の父母を対象に、札幌市の認定こども園の視察研修を実施しました。これは、

## 新しい先生が着任されました

4月5日、新冠町役場で平成22年度の教職員着任式が行われ、小林教育委員長より、新たに新冠町に赴任、任用された先生、事務職員12名に、辞令書が交付されました。期待や不安は大いにあると思いますが、子どもたちのために、頑張ってください。



#### 【前列左から】

- ①新冠小学校／上井隆志教諭
- ②新冠小学校／木谷金吾教頭
- ③朝日小学校／岸久夫校長
- ④新冠中学校／盛永明寿教頭
- ⑤朝日小学校／丸山真嗣典教頭
- ⑥朝日小学校／橋本敏弘教諭

#### 【後列左から】

- ①新冠中学校／廣瀬崇教諭
- ②新冠小学校／堀江俊一事務職員
- ③新冠中学校／佐々木伯承事務職員
- ④新冠小学校／村田理絵教諭
- ⑤新冠中学校／安孫子瞬教諭
- ⑥朝日小学校／前川由季教諭